

ピースクラブ通信

No.89

発行
所在地
連絡先
Eメール

社会福祉法人 ピースクラブ
〒556-0014 大阪市浪速区大国二丁目十一番一号
TEL 06-6664-7120
FAX 06-6664-7120
peaceclub@m01.p-c-ne.jp
http://w01.p-c-ne.jp/peaceclub/

パン屋のいくちゃん

大橋 茂

パン屋の仕事の中でも、人気ののが、シール貼りという仕事です。

食パン類は、数が多いので、あらかじめ印刷してあるのですが、スコーンや菓子パンなど多品種なパンは、シールで対応しています。食品表示は法律で規定されているので、かかせません。

シールの貼りはひとそれぞれで、いくちゃんはぎっくりに速く、よしろうさんは指の指紋がなくなるほど、こすりあげます。もちろん、とことんゆつく

りです。やきあがったパンを、ならべたり、袋づめしたり、洗いをしたりと、

たくさんの仕事があるので、シール貼りが人気です。

たぶん、「さおり」といっしよで、一人の時間にひたれるからかと思っています。

まさみっちゃんは、袋づめとか、抜群の能力を発揮するのですが、シール張りにはむいてはいません。

それなりに仕事の振り分けができていたのですが、せいちゃんの登場で事態は一変します。

せいちゃんの仕事が正確で速い、それでいて待てないので、シール貼りの仕事が

品薄になってしまったので、

かならずしも仕事でなくても、まさみちちゃんのよう

に音楽で、時をすごせば、それもよしと思うのですが、うまくいきません。

それで窮余の一策で思いついたのが、写経です。いくちゃんは、もともとフワ

フワしていて、仕事をする情熱で、いたずらするのでなかなか大変です。心配を

よそに写経にびったり集中でき、たくさん作品ができる事となりました。姫野くんが声をかけてくれて、写経のお焚き上げまで、つなげてくれたのが望外のしあわせでした。

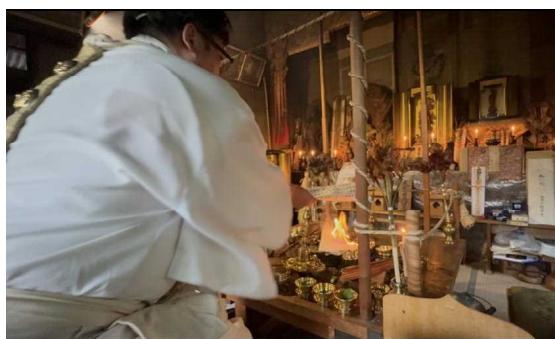


今はもう少しすすんで、クッキーや甘夏ラスクのタイトルを色鉛筆で仕上げる仕事を始められています。それぞれの力量や無味を育てながら、アートへといざなえれば、もっと素敵かと夢想しています。

働く皆の健康を祈願してとのことで、承り、毎月2回行っているお堂にて護摩の間、ご仏前にお供えして、護摩の残り火でお焚き上げさせていただきます。お堂でも一人の人からみんなに沢山の写経がお納めされることはめったとありません。いくちゃん、きつといいことあるで！

追記 姫野 隼峰

いくちゃんからお預かりした10数枚近い般若心経は、いくちゃんの健康、お父さんお母さんのご供養、そしてパン屋で共に



思い出しはん

まきの じゅんこ

実家は長野県大町市、安曇野の北端にあります。

こどもの頃、実家は11人と大家族のお米の農家でした。

お米を炊く羽釜がとても大きくて木の厚い蓋が乗っていました。台所の端にある、燃料が粗穀の、専用のかまどでごはんを炊くのでした。

まずそこに 室外にある粗穀を入れた容器からかまどに落して釜を据え、手前の焚口で杉の葉や新聞紙等の焚き付けを燃やして粗穀に火をつけて燃やします。

次第に火力が増して重たい蓋と羽釜の間からネバネバが出始めたあとと暫くだけ炊き、かまどと羽釜の間の鉄板を動かして燃えがらをいっきに外のコンクリート製の桧に落としします。

その頃にはごはんの炊き上がりのよい香りがしています。

この粗穀の遠赤外線効果なのかこの頃に食べていたごはんの美味しさが古希を過ぎてても忘れられません。

おかずは冬から春先は野沢菜漬けでごはんを巻くようにして食べると何杯でも食べられます。夏は畑の茄子、キュウリ、トマト、ピーマンをもぎたて、採りたてで食べていました。

やがてプロパンガスが入ってきて粗穀のかまども古い台所も改装してしまいました。

燃え尽きた真っ黒の粗穀は雪の庭に撒かれたり、田畑に撒いていました。本当に無駄がなく、循環させていたことをしみじみと思います。



与太話

2025 島に思う

与太夫婦は2019年以來、6年ぶり久米島に行つたのでございます。久米島は沖縄本島を除きますと石垣島、宮古島に次ぐ大きな離島です。しかしクルーズ船のコースから外れていきますので、インバウンドのゴツタゴツタはないのであります。

飛行機を使いますが、大会那覇から一番近い(時間のかからない)田舎でございます。

そんな久米島の良いところは「程よくあつて程よくない」とこ、大手の電機店はもちろんイオン系のスーパー、沖縄でお馴染みサンエー、ユニオンもないのであります。しかし困らない程度です。

パー、コンビニ、飲食店などはございます。

そんな久米島も同様、世界は2019年の終わり突如現れた新型コロナウイルスによつて分断、試練にたされたのでございます。感染しまして無症状の方もいる一方、重症化の後死に至る方々も多くいたのであります。

与太は家庭にコロナを持ち込まない！ピースにコロナを持ち込まない！を徹底したのであります。

家を出ることも恐くなり、パンデミックと言う名の疑心暗鬼、狂気に襲われ、日常が止まったのでございます。

電車で30分ほど隣の県に行くのも通行手形が必要でありました。

沖縄など行こうモンなら、なんちやら警察に捕まりネット袋叩きなのでございます。

当時「今は久米島に來ないで下さい」と言う哀しい書き込みもありました。感染を止めるイコール、人の流れを止めることに外ならないのでございます。おのずと経済活動も止まることに

それは島だけの話ではなく、すべての方々にとって死活問題でありました。6年ぶりの久米島、馴染みのホテルは改装されて綺麗

になっていたのでございます。いつもの居酒屋、オリオンの生、ざるもずく、車

海老の塩焼き、おろしスパー、コンビニ、はての浜ツアー、美味しい古酒も健

在だった。みんな生き残つてくれてありがとう！しかし：観光客がいなくなつたダメージがなかった分け

ではございません。久米島に行く目的の一つだったバーデハウス(海洋深層水を使った温水プールの

リハビリティ&リゾート施設）が閉鎖されたとお聞きしました。

以前滞在中、毎日のように通ったバーデハウス、CP（脳性まひ）の与太は強い紫外線を気にせずお嫁様と二人、養殖車エビ（久米島名産）の気持ちいい！力が抜けプッカプッカ浮かぶと言う極上のリハビリティを堪能、気持ち良過ぎ！だったのでございます。

復活してほしいのでありました。大阪に帰る朝、与太のおトイレタイムで久米島空港行き路線バスに、みごと乗り遅れたのでございます。与太は相変わらずヤラかすのでありました。仕方なくお嫁様はホテルのフロントでタクシーを呼んでもらったのでございま

す。久米島空港まで運転手さんの独演会、話題はロックダウンの頃のこと

「ねえね（お嫁様）あの頃ね、本当仕事なくて大変だったさあねえ！」もしかして、与太のヤラかしは大好きな島にお金を落とし島が潤うと言うこと！我ながらよくぞやった！思う。

そしてネタとなって帰って来るのであります。

余談 久米島でただひとつ行列ができる人気そば屋「やん小」の営業が期間限定になったらしい。

（インスタで調べてから行っちゃって下さい）よりレアになった「味噌もやしそば」ですが、久米島空港で高価お土産物として、お見かけしたのでございます。

パパラッチ与太

ピノコとの9ヶ月

姫野隼人

焼けつくような猛暑の日、すっかり物置台になっていたストーブを動かしたら、物陰から食べかけの噛み噛みガムがころりと転がり出てきた。

ピノコの食べ残しである。

昨年ピース通信に書いた小西家から我が家にやってきた

ピノコは、あの後「元の飼い主さんに会うと環境の変化を受け入れられない」とのアドバイスをうけ、ピースに来る機会をかなり減らした。そのぶんお気に入りの散歩コースである商店街でおばちゃんや子供達からたつぷり可愛がられ、「ちっちゃいハスキー」と、一躍マスコットとなった。

ワンちゃんのお友達もたくさんできた。床屋さんの虎太くんには特にモテモテで、虎太

くんはピノコに会うとはしゃぐあまりえすいてしまうほどであった。

チワワのコテツは最初ピノコの押しの強さにタジタジであったが、やがて遠目に見ても駆け寄ってくるようになった。

公園に行くとき小学校の子どもたちにも囲まれた。

商店街を歩いていると、どこにもかしこにもピノコの思い出の風景が焼きついてる。

5月ごろから体調を崩し、だんだんとご飯を受け付けなくなり、通院するもお薬もおつかなくなつて、最後は家で看取ろうと決心してから一週間ほどだったろうか。

日に日に足腰の力がなくなつて、それでも少しだけでもと出たがるピノコを抱き梅雨の終わり頃の雨の切れ間を散歩した。

抱っこしていると、ピノコはう

つとりと本当に気持ちよさそうで、病気の苦しさを感ぜさせないほどのんびりしていた、時にあまりの無反応さに顔を覗き込むとグースカ寝ていたりもした。

ある夜の散歩中に倒れてから日に日にしんどそうにジタバタするようになり、いよいよと思ったある夜に、僕は携帯のオンライン会議で僧侶の友人たちとおしゃべりしながら、夜を明かしてピノコを見守るつもりだった。

事情を聞いた方々が次々にピノコが安楽に良いところに行けるよう、祈ってくださった。

長い方は明日は休みだからと朝の5時までお付き合いだされた。僕も時折苦しうに身を震わせるピノコを抱いて、病の苦しみと死の恐怖に苛まれないよう夜通し祈った。

午前11時ちょうどにピノコは



横たわったまま数回大きく息をして、うちに来て9ヶ月の間を遊び疲れてバタッと眠るように生涯を終えた。

6月27日だった。

お母さんと瞳ちゃんに来てもらって、手探りだけれど精一杯できることをしてお葬式をして、ピノコを見送った。

四十九日明けはちようどお盆の入りだった。果物と精霊馬を祭壇の傍のピノコの写真の前に飾った。

ピノコは逝ったはしから帰ってきたわけで、そういうところはピノコらしいなど微笑ましい。

僕は朝構ってくれと起こして、ピノコがもういないので寝坊癖がもどって、今日も慌てて出勤するのだった。

日々寄り添う

大西 洋子

この前の投稿でいろんな人
に心配をかけて申し訳ないで
す。ちっとも過去に総括でき
ていませんが、少し謙虚にな
って人生をやり直しと思つて
います。毎日毎日にはけっこう
忙しく、いろんな人と出会う
てバタバタしています。一週
間はあつという間に過ぎて
いく。1年なんてすぐで
す。

まいつき
毎月のビラ配りすべて出会
いです。さつちやんの会かいのビラ
配りくば、和歌山カレー事件わかのやまのビラ
配りくば、楽しんでいきます。

いろいろな人に話しかけること
とで自分の考えを改めて認識して
います。風化させない
というような消極的な意味
でなく、亡くなったさっちゃんに
想いを馳せ、獄中
にいます。死刑制度
ますみさんのこと、

の理不^{りふ}尽^{じん}さを噛^かみしめていま
す。あつという間^まに流^{なが}されて
行く毎日^{まいにち}の大切^{たいせつ}な時間^{じかん}です
さっちゃん^{じよい}は金^{かね}で活動^{かつどう}して
いた女医^{じよい}さんで、患者^{かんじや}さんを
ひとり一人^{ひとり}に死^しなせない^なと、すべて
を掛^かけて寄^より添^そった。
釜^{かま}のおっちゃん^{おん}たちが貧困^{ひんこん}
ビジネス^{りよう}に利用^{りよう}されるのを抵^{たい}
抗^{こう}して殺^{ころ}されました。
自殺^{じさつ}で片付^{かたづ}けられヤミに葬^{ほうむ}
られるのを許^{ゆる}しません。

ひとは寄り添^よつて生きるも
ので、私はピースの面々^{めんめん}と毎
日に会うことで生かされてい
る。週^{しゅう}に一回お昼^{ひる}ご飯を作
っている。いくちゃん、やす
ちゃん、ふみちゃんが手伝^{てだ}
つてくれる。本当は全部任せ
たらいいんだけど…40人分
だから私は手伝^{てだ}っている。
いくちゃんは片付^{かたづ}けながら手
際よく段取りしてくれる。
やすちゃんはさすがお母^{かあ}
さんの代わり^{かへり}に家事^{かじ}をこなし
ているだけあって、テキパキ

して頼たのもしい。味見あじみをして美
 味いしいを決きめていく。美味おいし
 いものを食たべてもらうことを
 一いちばん番ばんにしていて、皆みなで最さい後ご
 決きめている。楽たのしいなあ。

美味しいなあ。

にちじよう

日常
し
びようどう

死は平等

生きながらえた

意味はあるのか

ありがたいこと

ありがたいこと

し
び
よう
どう

死は平等

伴に生きるを学んだ

その場所でこの場所

あつかたいこと

あいかたしこと

七^しは^び五^ご斗^{とう}

死は平等
おた
しら
意や
か
な
周
く

穂^むやかな訪^{がわ}へ
 その向^むこう側^{がわ}

その向こう側
それは、果^くて反^{かえ}る

それが、終い込し

ありがとう

よ
太郎

比
之
良

<

<

<

<

<

◇ 編集後記 ◇

24時間テレビが異世界ファンタジーを流している。小学生の頃からやっていた。障がい者の方が頑張っているファンタジー映像を見た家族は：お前は全然頑張っていない！そうだ！そうだ！大盛り上がり。これが社会なんだ！子供心に悟りました。今年24時間テレビの犠牲になられた障がい者の方々、お身体痛めてませんか？暑かったでしょう。

ご苦労様としか言えません。

ただ：開拓者たちは切り開いた 垣根を越えたひととひと 深い繋がりで…。

編集部 へんしゅうぶ